

筑波耐久走行会



更新履歴

2018年4月16日 排気量規定変更
2018年4月13日 Class5と6の排気量変更

1) 主催

(有)ジャパンレーシングサービス

〒250-0012 神奈川県小田原市本町 4-3-43

事務局連絡先 0550-78-0128

2) 参加申込

参加申込は、Eメールに以下の必要事項を記入の上お申込み頂くか、以下のリンクよりエクセルのフォームをダウンロードして添付ください。

エクセルフォーム：<http://www.japan-racing.jp/vicic/download/tcfoam.xlsx>

メールアドレス：moto-cup@japan-racing.jp

1. 申込者氏名：
2. 参加費の振込者氏名（カタカナで記入）：
3. 住所：
4. 連絡先携帯番号：
5. 希望ゼッケン番号：
6. 参加クラス：
7. チーム名：
8. 使用車両名(1～3台)：
9. メンバー氏名：

3) チームと車両構成・参加資格

- 1) ドライバーは適格な運転免許証を保有すること。
- 2) 各チームのドライバー人数に制限はありません。何名で参加しても良いです。
- 3) 車両はチームに対し **1～3台**まで使用する事が出来ます。複数台使用するチームはピット交代時に発信機を次の車両へ載せ替えてから走行してください。

4) イベントの構成

第1セッション：15分間のタイムアタック

第2セッション：ローリングスタートによる2または3時間耐久

5) クラス分けとクラス名称

クラス名称	タイヤ	エンジン		対象車両
Class 1	Sタイヤ またはスリック	1,500cc 以下	NA	レース車両可
Class 2	Sタイヤ またはスリック	1,500cc 以上	NA	レース車両可
Class 3	ラジアル	1,600cc 以下	NA	
Class 4	Sタイヤ	1,600cc 以下	NA	

Class 5	ラジアル	2,000 cc以下	NA	
Class 6	S タイヤ またはラジアル	2,000 cc以下	ターボ	
Class Super	S タイヤ またはラジアル	330 馬力以上	問わず	ハイパフォーマンスカーを 対象
Class K	S タイヤ またはラジアル	軽自動車	問わず	ロールゲージ必備

6) 車両の準備

- ✓ 配布された発信機を右窓の内側へ**ガムテープ**で貼り付ける！貼り付け場所や貼り付ける方向が間違っていると計測できない場合があるので慎重にお願いします。
- ✓ 雨や風圧に耐えうるゼッケン番号を「**前と左右**」に貼り付ける！特にサイズや色に規定はございませんが、はっきり認識でき、走行中に剥がれないよう固定してください。
- ✓ 牽引フックを取り付ける。車載工具に付属する純正品で OK。
- ✓ ガラス製のヘッドライトやウインカーにテーピングを行う。プラスチック製のヘッドライトなどはテーピング不要。
- ✓ 少なくとも基本メンテナンス（ブレーキ、オイル類、ベルト類の確認）を事前に必ず済ませておいてください。

【とても重要です！】

発信機とゼッケンは指定場所に“固定”してください。

走行中に発信機が認識できない場合は、バックアップとして定点カメラにて**右側ゼッケン**を確認し光電管を介して計測します。しかしゼッケンが小さかったり、剥がれていると車両の認識ができなくなり、これらは計測結果に直接影響してしまうため十分ご注意ください！



7) ドライバーの準備と装備

- ✓ ヘルメット、レーシンググローブ（軍手など不可）、長袖、長ズボン、運動靴の装備厳守となります。レーシングスーツ、ハンズ、4点シートベルト等の安全装備があれば尚良いです。

【備えあれば憂いなし！】

時に安全はお金で買えることがあります。お小遣いをセコセコ貯めて、シートベルト、ロールゲージ、上質なヘルメット、ハンズなど安全装備品を揃えることをお勧めします！

- ✓ 走行中の腕まくりなど、素肌が見えた状態で運転しないようご注意ください。
- ✓ 運転中に運転席の窓は石等の飛び込みを防ぐ為に閉めてください。窓を開ける場合は後部や助手席などで対応をお願いします。
- ✓ 同乗走行は一切禁止となります。

8) ルールとマナー

- ① 如何なる状況であろうと事故の際は、相手に責任を追究したり、その責任を求めたりすることは出来ません。全ては **50 : 50**（五分五分）となります。
- ② ガードレールなど施設を破損した際は、施設補修費用が発生します。
- ③ 走行中に給油する際は、ガソリンスタンドで給油を行ってください。また携行缶で給油する場合は必ずパドック内で行い、消化器を携えた作業者が立ち会うようお願いいたします。
- ④ 車両を入れ替える際は、発信機の移動が必要です。なおコース上でストップした場合は SC または赤旗などで走行がコントロールされた後に発信機が次の方へ渡ります。「コース上でストップしピットへ戻れない場合、まずドライバーは至近のガードレールの外など安全なところへ待避してください。コース上を SC 対応とした後にレッカー車により回収しますがこのタイミングにつきましては主催者の判断とします。なおチェッカーまで 20 分を切ったタイミングでの回収は行わないことがあります。
- ⑤ 黄旗が振られている間は**追い越し禁止**となります。極端な低速車両の追い越し以外は規制区間を厳守下さい。なお規制解除は**緑旗**となります。
- ⑥ 赤旗中断中でも計測時間に含まれます。
- ⑦ プリーフィングは必ず参加ください。また必要に応じてピットクルーもご参加ください。
- ⑧ SC（セーフティカー）導入の手順。

セッション中にコース内で障害物や何らかの理由により低速走行が必要とされる時に SC を導入します。なおこの間にピットインもできます。

- 1) 各ポストから「SC」のボードが提示され、コントロールブリッジも「SC」を表示する。
- 2) 直ちに安全な速度を保ち**一列**の隊列で走行を維持（ピットイン可）。なおこの間は**追い越し禁止**となります。
- 3) フラッシングライトを点灯した SC がコースに進出し隊列の先頭に配置し 70 キロ前後で走行を続ける。
- 4) SC の解除が迫ってくると SC のフラッシングライトが消灯。
- 5) SC が隊列を離脱しピットインします。隊列は一定の速度を保ってそのまま走行を維持。
- 6) スタートラインの信号が「青」になったら走行が再開し、この時点から**追い越し可能**となります。なおこのときポストから**緑旗**も振られます。

⑨ 「赤旗」が掲示された際の手順

走行を一旦停止しなければならない場合には、各ポストより「赤旗」を提示します。赤旗を確認したら安全な速度でピットロードへ戻ってください。

- 1) 各ポストより赤旗が提示される。
- 2) 安全な速度でピットへ戻る。
- 3) 赤旗の間もセッションの時間に含まれます。またこの間にピット作業やドライバー交代もできます。
- 4) 走行準備が整っている方は、ピットエンドで待機（**信号は「赤」**）。後にここから走行が再開します。

5) ピットエンドの信号が「赤」から「青」へ変わったらコースインが可能となり、ここから走行が再開(リ・スタート)します。

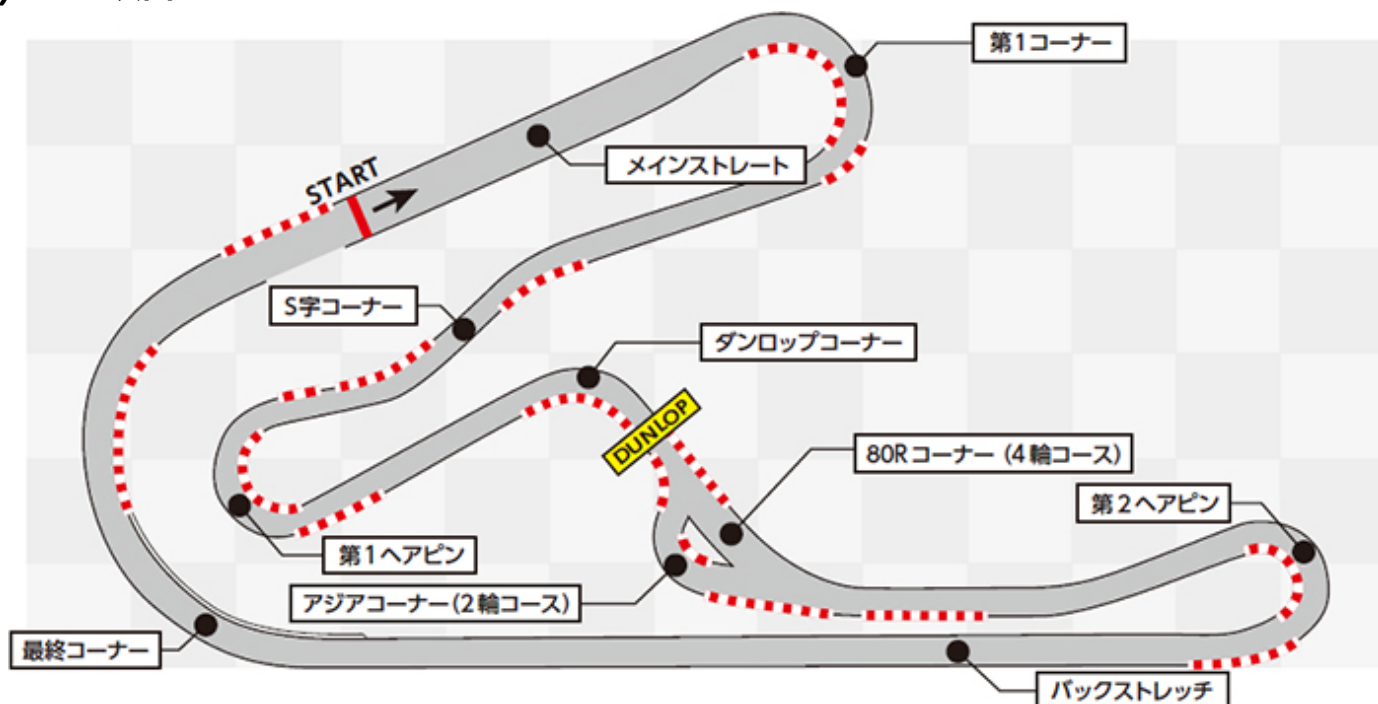
9) 第2セッションのスタート手順

- ① 第1セッションのベストタイム順にスターティンググリッドを決定します。第1セッションに出走しないチームは主催者判断にてグリッドを割り振ります。
- ② セッション終了後にグリッド表を配布します。各自事務局まで取りにきてください。
- ③ ピットロードエンドへ整列（参加台数が多い場合など安全を確保するためにピットロードより SC スタートとなる場合があります。当日のブリーフィングにて発表）
- ④ コースインしグリッドに整列
- ⑤ ピットクルーはグリッドより退去
- ⑥ エンジン始動
- ⑦ ローリング開始（計測開始）
- ⑧ SC 離脱
- ⑨ シグナルがグリーンでレースがスタート
- ⑩ 総合順位 1 位のチームから先頭にチェッカー。なお順位の確定は「周回数優先」となります。

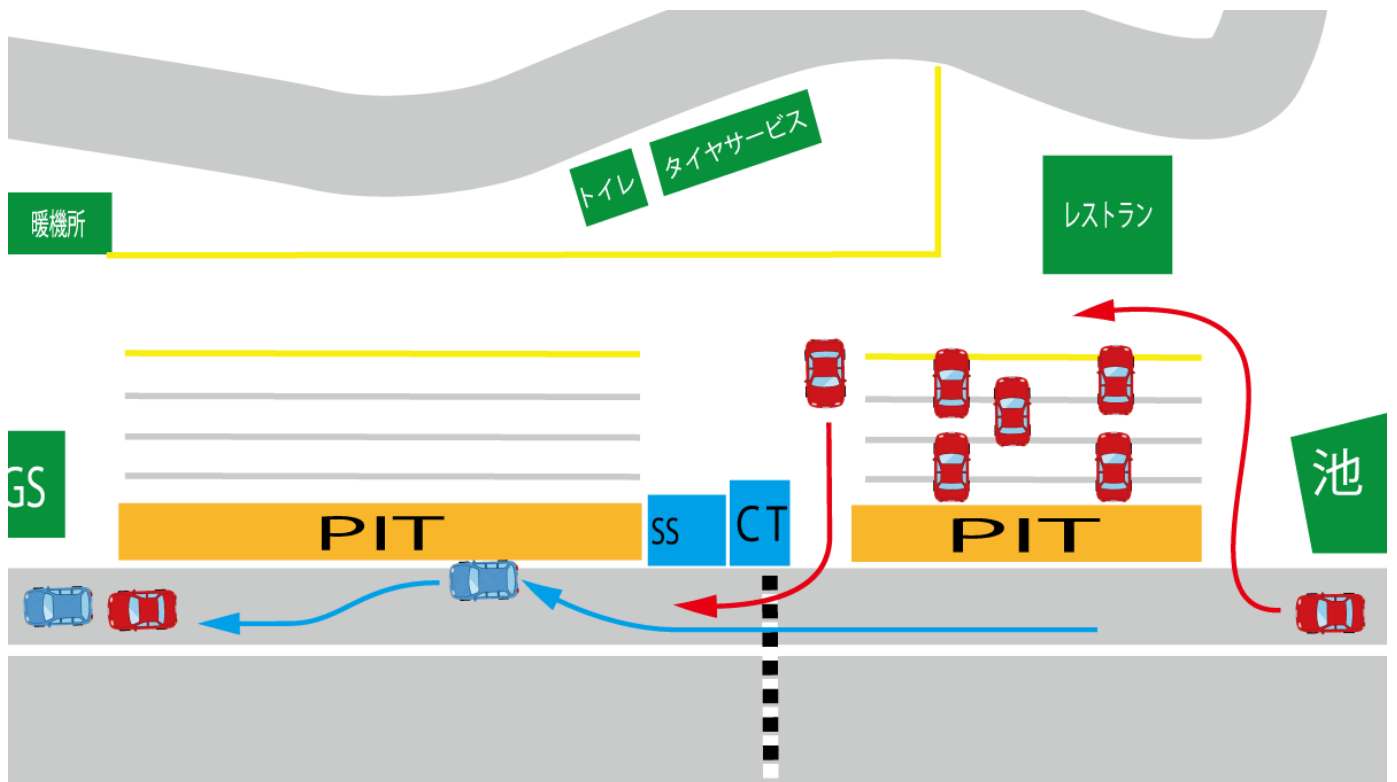
10) 発信機返却


チェッカーを受けてピットに戻ったら発信機を返却ください。


11) コース図



12) ピットとパドックの使用方法



 車両交代を行う車両
パドックで車両交代と発信機載せ替えを行う
車両を交代させない場合はピットロードを使用可

 車両交代を行わない車両
ピットロード作業エリアでドライバー交代を行う
但し車両修理などの作業はパドックで行うこと

13) 事務局より

くれぐれも事故なく安全な走行を心掛けて頂き、この一日を楽しんでください。

みなさまの協力なくして、この大会は成立致しません！